

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市岩室地域児童館
管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日
担当課	西蒲区役所健康福祉課
所在地	新潟市西蒲区和納1966番地7
根拠法令	児童福祉法
設置条件	新潟市児童館条例
施設概要	敷地面積 1,928.88㎡ 延床面積及び構造 485.50㎡(軽量鉄骨平屋建て) 主な施設内容 事務室 (24.30㎡) 図書室(39.69㎡) 集会室 (85.06㎡) 遊戯室(89.10㎡) 乳幼児室(40.50㎡)

施設設置目的	
児童福祉法第40条に定める児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し又は情操を豊かにすること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
【基本方針】	
1 児童の健全育成をはじめ、ボランティア活動や地域社会と協力連携しながら、地域住民に親しまれる児童館とする。	
2 子どもたちがいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行う。	
3 旧岩室村地域を広く包含する施設であり、設置地域以外での移動児童館の開催も想定する。	
【主な事業】	
(1) 健全な遊びを通じた児童の集団及び個別指導の実施	
(2) 遊びを通して運動に親しむ習慣形成の実施	
(3) 体力増進指導を通じた社会性の育成及び心と身体健康増進の実施	
(4) 年長児童の自主的な活動に対する支援の実施	
(5) 母親クラブ、子供会等の地域組織活動の育成助長及び指導者の育成の実施	
(6) 子育て相談などの子育て家庭の支援の実施	
(7) 地域児童の健全育成に必要な活動の実施	
(8) 施設設置地域以外に出かける移動児童館の実施	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	施設利用度	入場者数(年) 30人×359日≒10,800人	入場者数(年) 12,942人(約36人/日×359日開館)	A	評価指標に比し3割程度増加し、評価指標を大きく上回った。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施2回以上/年	利用者アンケート随時行っているが年2回実施。	B	アンケートを2回実施し、評価指標を達成した。
	広報の充実	行事日より、ホームページによる、児童館活動に関する情報発信を2回以上/月	SNSによる情報発信 3回/月以上発信。 42回/年。	A	SNSによる情報発信を3回/月以上実施し、イベントの告知や参加した児童の楽しそうな様子をなどを伝えた。
	事業の実施	乳幼児、小中高向け事業実施4回以上/月	4回以上/月実施。	A	乳幼児向け事業を延べ299回、小中高向け事業を延べ308回実施した。
財 務	業務の効率化	夏季の室温28度 冬季の室温22度に設定 5回/日、チェック (10時・0時・2時・4時・6時)チェックリスト作成 遊戯室・集会室に設置	夏季において熱中症対策として室温を25度に設定。チェックリストを使用し5回/日にて室温管理の徹底、管理を実施。	B	夏季は気温が非常に高く、利用者の暑いという声も踏まえ評価指標よりも低い設定温度としたことはやむを得ない。また、室温チェック評価指標どおり実施した。
業 務	設置目的の理解	移動児童館実施(年) 12回	新型コロナウイルス感染症対策により実施なし。	C	評価指標を下回ったが、新型コロナウイルス感染症対策としての中止でありやむを得ない。
	安全安心の確保	防災訓練等実施2回以上/年 AED講習1回以上/年	防災訓練年2回実施。 AED講習年1回実施。	B	防災訓練、AED講習ともに評価指標の回数を実施した。
	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期報告	緊急連絡網に沿って運営実施。	B	必要の都度、電話・来所等により報告をした。
人 材	職員のスキルアップ	外部研修参加延べ人数 4人 社内定期研修延べ人数 6人 参加実施	外部研修参加9名。 社内定期研修1名。	B	社内研修への参加人数は評価指標に満たないが、外部研修には評価指標の約2倍の人数が参加し、スキルアップに努めた。

【評価基準】
A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B: 要求水準(評価指標)が達成されている
C: 要求水準(評価指標)が達成されていない
※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」となりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)
令和4年度児童館利用者数が目標としていた人数より多く利用者に来館して頂く事ができた。コロナ禍での制限があったが、SNSを通じて動画アップをしたり来館できなくても動画を見て楽しめる工夫を実施した。
令和5年度につきましては、新型コロナウイルス感染症対策において実施できなかった西蒲原地区の移動児童館の実施と職員のスキルアップ向上を図る社内研修を年2回は実務にて研修実施し、他研修におきましては、社内の動画研修にて実施致します。

所管課による総合評価(所見)
評価の視点のうち「市民」については、4項目中3項目において評価指標を上回っており、入場者数については前年度と比べ約3割増加した。SNSによる広報や各種実施を充実させ、多くの児童・保護者から利用されたことを評価する。
また、その他の視点においても、求められる水準を概ね達成している。
移動児童館について、令和4年度はコロナ対策として実施しなかったが、令和5年度は予定どおり実施できることを期待する。